

# 小松教育事務所管内 タウンミーティング

**子どもたちの豊かな心を育むつどい in 南加賀  
－主体的な学びに向かう子どもたちを育てるために－**



現在の子どもたちには、自己肯定感や社会参画に対する意識・意欲の低さ、情報通信技術の進展に伴った他者とのコミュニケーション力の不足等が感じられます。特に、いじめ防止の観点からも、生命を大切にする心や他人を思いやる心、善悪の判断などの規範意識等の道徳性を身に付けることは、とても重要だと考えられます。

道徳教育を進めるには、学校での取組はもちろんですが、家庭や地域社会での理解と協力が必要であり、学校・家庭・地域が連携して取り組んでいくことが重要です。

今回の小松教育事務所管内タウンミーティングでは、学校・家庭・地域の連携によって子どもたちの豊かな心を育てることについて、ともに考える機会にしたいと思い、上記のテーマで開催いたしました。

..... 当日のプログラム .....

◇ 開会挨拶 14:00～14:05

石川県教育委員会小松教育事務所 所長 高橋 正英

◇ 報 告 14:05～14:20

**「これからの道徳教育について」**

石川県教育委員会小松教育事務所 指導主事 野田美由紀

◇ 実践報告 14:20～14:40

**「人と地域を生かした道徳教育について」**

能美市立湯野小学校 研究主任 東森 敬子 教諭

◇ 講 演 14:55～16:05

**「未来社会に生きる子どもたちのための道徳教育  
－コミュニティ教育力を支える道徳的環境－**

金沢工業大学 基礎教育部教職課程 教授 白木みどり 氏

◇ 意見交換・閉会 16:05～16:15

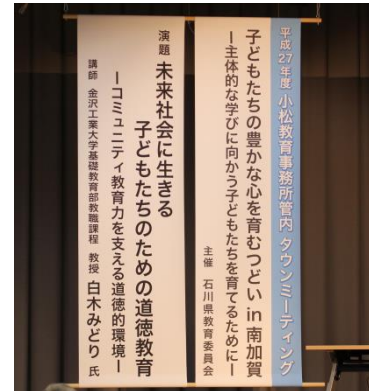


11月1日（日）午後、能美市辰口福祉会館において、小松教育事務所管内の学校・家庭・地域の方々約200名が集い、実践報告や講演を通して、子どもたちの豊かな心を育てるための道德教育の必要性や学校・家庭・地域との連携のあり方についてともに考えました。

◇報告 **これからの道德教育について**

小松教育事務所 野田美由紀 指導主事

- 1 「道德の教科化」が求められた背景
  - 2 学習指導要領一部改正について
  - 3 特別の教科道德の実施に向けて 今、求められていること
- 学校が家庭や地域社会と連携して行う道德教育の在り方について報告しました。



◇実践発表 **人と地域を生かした道德教育について**

能美市立湯野小学校 東森 敬子 教諭

- 1 「道德の時間」の充実
- 2 教育活動全体を通じた道德教育の推進
- 3 学校・家庭・地域との連携による道德教育の推進

「いしかわ道德教育推進事業」の研究校として取り組んできた実践を、上記3つの柱を中心に、その成果と課題とともに報告していただきました。

◇講演 **「未来社会に生きる子どもたちのための道德教育**

ーコミュニティ教育力を支える道德的環境ー

金沢工業大学 基礎教育部教職課程 教授 白木みどり 氏

激しく変化する社会の中で未来を生きる子どもたちに必要な資質や能力とその教育基盤として必要とされる道德教育についてお話していただきました。道德の時間における言語活動の重要性や学校・保護者・地域、社会の連携と協働など、今後の教育に求められる視点について理解を深めることができました。



◇意見交換

最後に、会場の皆様から保護者・地域・学校それぞれの立場から感じたことやご意見等をいただき、それぞれの立場で何ができるのか、どのように連携を深めていけばよいのかなどについてともに考えました。



★参加者からの意見・感想

○子供に自尊心を持たせ、他人を思いやる心を育む教育が大切で重要だと思います。学校での教育と家庭での子供との接し方、地域の連携が一体となって成り立つものだということがわかりました。  
(保護者)

○変化する社会で、子供達がより良く生きていくために、思考経験を重ねる「考える道德」「議論する道德」を目指さなければならないの思いを強くしました。  
(教諭)

○道德は子供だけが学ぶものではなく、大人も一緒に学ぶ必要があるのではないかと思う現代社会です。親子で学ぶことが大事なのかなと思います。  
(保護者)

○地域の教育資源、もの・ひと・ことを活用するためにも、学校は地域とますます密接な関係をつくっていく必要性を感じました。  
(教諭)